

新庁舎建設基本設計説明会・シンポジウムの質問の要旨とその回答

番号	質問の要旨	回答
1	新庁舎建設後、現在の本庁舎の活用方法を教えてください。	現在の市役所本庁舎は、空調設備、電気設備、給排水設備などの老朽化が進行していることから、今後も建物を維持するためには多くの費用が発生することが想定されます。そのため、建物を解体し、跡地は、売却することを基本とします。
2	新庁舎計画の中に教育に関する視点をぜひ入れてほしい。	日常的な野外活動が可能な市民公園や、自然を身近に感じられる市民スペースを整備し、那須塩原の自然環境や歴史風土を学べる場とする計画としています。
3	設計業務委託の設計受託者がどのような経緯で決まったのか、また、設計委託料はいくらか。	新庁舎の建設工事に必要な基本設計及び実施設計業務を実施するに当たり、本市の考え方に對し柔軟に対応できる高度な発想力・設計能力・技術力及び豊富な経験等を有する事業者を選定するために、プロポーザルを実施しました。 また、本業務は基本設計と実施設計を一括で発注しており、業務委託料は271,150,000円で契約しています。 詳細は市ホームページで確認いただけます。 https://www.city.nasushiobara.tochigi.jp/machizukuri/1/1/19165.html
4	新庁舎の建設費の総額と維持管理について知りたい。	新庁舎建設工事の概算建設工事費は、11,346,000千円としております。今後、設計等を進める中で内容の精査を行い、また、社会情勢の変化等に伴う変動を踏まえながら検討を進めます。 維持管理については、断熱性能や省エネ設備を導入することで冷暖房や照明などの利用エネルギーを50%削減し、ランニングコストを抑える計画としています。
5	市民交流スペースにおいては、次のような機能が欲しい。 室内公園：遊具、休憩スペース、イベントスペースなどを設置 芸術の拠点：テストキッチン、月替りの食堂、キッチンカー、掲示板、コミュニケーションスペース、子供の学習スペース、部活動スペースなどを設置 空間設計：中一屋根の下一外へとつながるような開放的な設計、お子さん連れも安心して遊べる安全な設計	冬季や雨天時の活動や、学習スペースなどの機能を持った市民広場・市民ホール・市民協働スペース・子育て支援スペースなどを整備する方針です。 また、キッチンカーの営業や食のイベント等ができるような屋外空間も併せて整備していきます。
6	静寂と活気の分離の考えにおいて、市民ホールに読書勉強スペースを設けるの疑問に感じる。全ての市民機能をそろえるということは、他の施設が持つ市民機能を奪うことになるか、地域活性化につながるかどうかについての考えを聞かせてもらいたいです。	市民ホールは、集中して作業をする空間ではなく、カフェや駅の待合と同程度の雑音レベルでカジュアルに憩える空間を想定しています。 全ての市民機能を揃えるということではなく、現在の機能に足りていないと想定される機能を付加する考えです。
7	広場や会議室等を使用する際は有料ですか？	現時点では料金体系は未定であり、今後、検討を進めていく予定です。
8	那須塩原駅の利用者は車で送迎が多く、徒歩圏内の住人は少ない。開所後の集客がそれほど期待できないのではないかと危惧しますがそういう懸念は持たれていないのでしょうか？	市民や観光客など、みんなが集まれるような魅力的な那須塩原駅周辺、市役所をつくってまいります。
9	市庁舎としての実際の使われ方に関して、検証を行ったことだったり、これまでの設計から応用した経験はありますか。	日常的ににぎわいを生む公共空間、現代的でウェルネスな執務スペース、サイン計画など、これまでの実績と知見を活かした設計を行っています。
10	女性の視点、ジェンダーフリーの配慮、外国籍・多国籍への取り組みはどのように取り入れられていますか。	女性の視点だけでなく、性別問わず、高齢者など、様々な人々が使いやすい空間とするため、プライバシーや利便性を向上させる機能を取り入れています。 また、サイン計画等において外国語対応をしています。
11	新庁舎における木材の利用について、建物自体を木造とする予定はないか。また、木材を外壁に使用する際の耐用年数は何年を想定していますか。	建物の構造は、耐震性・防災性・BCPの観点、また、コストの観点から鉄筋コンクリート造と鉄骨造を併用しております。 木材の外壁への利用については、雨掛かりとならない部位での使用を計画しております。適切なメンテナンス（数年ごとの保護塗料の塗布など）が施された外装木の耐用年数を約30年と想定しています。
12	駐車場数は足りるのでしょうか？	来庁者駐車場は、来庁者台数、集中率、平均滞留時間などを考慮して算定しており、十分な駐車台数を確保しております。※今後、設計を進めていく中で変更となる可能性があります。

新庁舎建設基本設計説明会・シンポジウムの質問の要旨とその回答

番号	質問の要旨	回答
13	「情報アクセシビリティ」「音声によるみえる化」をよろしく願います。	音声による誘導案内や議場等への補聴援助システムなど、全ての方が情報を取得しやすい環境整備を検討しています。
14	太陽光発電パネルのほかにもどのような電力供給設備を導入する予定か。	太陽光発電パネルのほか、蓄電池システムの導入を検討しています。
15	那須塩原含む、栃木県東北地域は、星空環境がまだまだ良い地域です。星空環境も、守るには、上と水平方向の遮光がされれば良いだけなのですが、田舎の照明は、明るいことを求める傾向があり、品位のないLED照明増えつつあります。役所周辺の照明について、検討している事があれば教えていただきたいです。	光害に配慮し、敷地内道路や駐車場等は必要最低限の照度を確保した計画とします。
16	防災機能は是非必要でお願いしたい。おおむねの内容・人数はどの程度ですか？市役所は全体の防災機能をどのように考えていますか。	災害対応や救援要請を所管する命令指揮系統としての機能のほか、一時避難所を想定しております。
17	那須塩原市であって那須とは違う新庁舎まちづくりはできますか（差別化）。	県北の玄関口として、那須地域の魅力を感じられる街並みや、市民や観光客が憩う市役所を整備していきます。
18	県道53号線も含めた緑化イメージ図がありましたが、本庁舎整備と併せて何か行う予定はあるのでしょうか？また、周辺の渋滞対策は何か検討しているのでしょうか。また、栃木は車社会なのですぐ近くでも車で行ってしまう気がします。今の道路状況だと、大混雑しそうなのが心配です。周辺道路の整備は予定がありますか？	本市の個性と独自性を体現する魅力的な那須塩原駅周辺エリアの形成に向け、現在、ハード・ソフトの両面から必要な取組の検討を行っており、その方法の一つとして道路等の公共空間の活用可能性を検討しているところです。具体的な整備内容、規模、周辺道路整備の方向性等は今後検討していくこととなりますが、整備に当たっては、交通量の現況調査等を行い、必要に応じて交通網の検討に生かしていく予定です。
19	山並みの景観を損ねないよう、周りの建物の考え方も整備して下さい	いただいたご意見は、今後の景観形成等の施策検討の参考とさせていただきます。
20	道路環境が悪い（歩道がない、路肩の崩れ）のが課題。新庁舎のデザインのように、電柱をなくし、共同溝に上下水道・電気等をまとめ、安全に歩行や自転車が走れる道路整備を（空が広がる、道が広がる）。	いただいたご意見は、今後の那須塩原駅周辺まちづくりの参考とさせていただきます。
21	那須塩原市として市民が街のリビングとして使い、マルシェやイベントを公共空間を活用して行うためにどのような計画をしていく予定ですか。また、新庁舎から賑わいを広げて行くとのことですが駅からの動線も含めどのようなコンセプト、ブランディングで賑わいを創出する考えでしょうか。	市民が主体的に公共空間を活用するための土壌づくりには、整備内容の検討段階から市民の主体的な関わりが重要であると考えています。市民ワークショップ、市民・民間事業者等で構成するまちづくり協議体での議論を踏まえて、公共空間の使い方に関する検討を進めていく予定です。 賑わいを生むためには市民から理解や愛着を得ることはもとより、市外からも高い認知度を獲得するための取組も必要となり、その取組に当たっては、コンセプトの設定、効果的なブランディングが重要であると考えています。今後、「那須塩原らしさ」の具体化に向けたブランディング等の検討を進めていく予定です。